

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運動スペースと学習スペースがあり、十分な広さを確保し療育環境を整えています。また、学習中は個人の状況に応じてパーテーションを使用し空間を確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		児童発達支援管理責任者1名、保育士4名、児童指導員2名、にて、ニーズに対応できる体制にしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		施設内に段差はなく安全性を確保に努めています。また、道具の配置なども安全を考慮行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月例会議や毎日のミーティングにて療育内容の振り返りと見直しています。また、不参加の職員にもノート等にて周知しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年1回保護者アンケートを実施し業務改善を図っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		支援ソフト、ホームページに掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後、実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修への参加により資質向上を図っています。また、他の事業所との意見交換なども実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		定期的に日々の確認を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートや評価キットを用いて実施しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個別支援計画のスケジュールに沿って、チームで活動計画を立てます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		メインプログラムを日々精査しながら検討を重ね取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		ソーシャルスキルを考慮した療育を実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		お子様一人ひとりの目標に沿った計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に前回の振り返りと本日の課題について、ミーティングを実施しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育の振り返りや送迎時の家族とのやり取りなど、情報の共有を実施しています。

	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ソフト内に支援記録を入力し、ご家族への公表も実施しています。また、ミーティングファイルを記入し情報共有も図っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		ご家族とコミュニケーションや面談を定期的に行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。(多職種の参加も必要に応じて対応させていただいております。)
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時など学校関係者の方との情報共有を行っています。必要時には、保護者への確認後お話しする時間を取らせていただけるよう声掛けさせていただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所や相談支援専門員への連絡により情報交換を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		事業所担当者と連絡を取り、助言をいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	今後、参加検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎や面談の際に、困りごとや出来たことなどその場で伝い合えるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		送迎や面談の際に、困りごとや出来たことなどその場で伝い合えるようにしています。また、療育内容を通じて家庭でも取り組めるプログラム等の助言を行っています。
保護者への説明責	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に運営規定ならびに重要事項の確認を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎や面談の際に、困りごとや出来たことなどその場で伝い合えるようにし、必要に応じて助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	年に一度保護者会を開催しています。

任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置し契約書にもその所在を記載しています。何かあった場合は迅速に対応します。
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		運営システムソフトHUGを活用し、活動状況や行事開催等の連絡を行っています。また、ホームページにもブログを掲載しています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約の際に個人情報の取り扱いについての確認を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様が分かる伝達方法を使用します。(筆談、イラスト等)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		事業所内での共有には努めていますが、ご家族への周知には至っておらず、今後実施していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		火災、風水害、地震等を想定した訓練を定期的(年2回)に実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修にて虐待防止の取り組みを実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	該当事例がありませんが、やむを得ず実施する場合は児童発達支援計画に記載を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		おやつ提供があるため契約時に事前に確認し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所のみならず会社全体で共有し、再発防止に努めています。

令和6年度実施 回収 9部/ 配布34部(回収率26.5%) ※無回答は数値に含んでいないため回答数と一致しません

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1		・学習や運動のためのスペースが、しっかり確保されていると思います。 (学習スペースと運動スペースをそれぞれ確保し、療育環境を整えています。また、屋外においては近隣の公園等における活動も実施しています。)
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9			・どの先生方も優しく、子どもの適性に合った援助をして下さっていると思います。 (児童発達支援管理責任者1名、保育士4名、児童指導員2名、にて、ニーズに対応できる体制を整えています。)
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3		(これから整理整頓を心がけていきます。)
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	9			(面談や送迎の際にご自宅での様子などをお伺いし、一緒に確認しながら作成できるように努めます。)
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			(お子様の特性や成長に合わせて日々課題を検討しています。ご不明な点がございましたらお聞きください。)
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	・他の施設の児童との交流で心無い事を言われるのではと心配がある為希望していません。 (地域との交流など実施していますが、保護者の方が心配ないよう職員で配慮しながら取り組んでいきたいと思っています。)
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9			・見学、体験の時にとても丁寧に説明して頂きました。 (ご不明な点などがございましたらお声かけください。)
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9			・送迎時に話を聞かせて頂いたり、支援アプリで毎回詳しく伝えて下さっています。 ・行き帰りの際やHUGを通して息子の成長や良い点を褒めて下さり、息子も嬉しそうにしています。 ・毎回HUGにて写真つきでその日の様子を詳しく記載して下さい、大変ありがたく思います。日々の成長が分かるので安心できます。 (あたたかいお言葉ありがとうございます。今後もお話の機会を設けて共通の認識ができればと思います。)
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9			・時間を作っていただき、丁寧に面談を行って頂きました。 ・いつも相談にのって頂き、適切なアドバイスをくださるので、大変心強くありがたいです。 (今後も面談の機会は設けていきます。何かありましたらいつでもお声かけください)
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2		・スタッフの方たちと相談できているので問題ありません。 ・保護者会で、他の保護者の方と交流が出来て良かったです。 ・楽しみにしています。 (定期的に保護者交流会などこれからも開催していこうと思います。)

	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			・不満はなく苦情を訴えた事がないため分かりません。 ・苦情を出したことがないので分かりません。 (何かありましたらお声かけください)
保護者への説明等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			(これから心掛けていきたいと思います。)
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9			・支援アプリで詳しく教えて頂けるので、とても便利で良いです。 (今後も支援ソフト(HUG)を通じて発信していきます)
	14	個人情報に十分注意しているか	9			・事前に十分な説明と意志確認がありました。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2		(各種マニュアルは作成しております。ご希望がありましたらご覧いただけますのでお声かけください。)
非常時等の対策	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2		(年2回の予定で訓練を実施しております。多くのお子様に参加いただけるように実施回数につきましては検討していきます)
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9			・どの習い事よりもわいわいに行くことを楽しみにしています。 ・毎回通所を楽しみにしており、いつも楽しそうに帰ってきます。 ・毎回、先生方に会えるのを楽しみにしています。写真からも息子の楽しそうな様子が伝わってきて、心から安心して通えていると思います。ありがとうございます。 (今後もお子様たちの期待に応えられるよう取り組んでいきます。)
	18	事業所の支援に満足しているか	9			いつも子供が利用楽しみにしています。 これからもよろしくお願いします！ 先生方が皆様温かく、安心して預けさせていただいております。 いつも成長を見守っていただきありがとうございます

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運動スペースと学習スペースがあり、十分な広さを確保し療育環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		児童発達支援管理責任者1名、保育士4名、児童指導員2名、にて、ニーズに対応できる体制にしています。
	3	生活空間、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		施設内に段差はなく安全性を確保に努めています。また、道具の配置なども安全を考慮行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		運動と学習のスペースを分けることで、お子様が集中して療育ができる環境確保に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月例会議や毎日のミーティングにて療育内容の振り返りと見直しています。また、不参加の職員にもノート等にて周知しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年1回保護者アンケートを実施し業務改善を図っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所内に設置、ホームページに掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後、実施を検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修参加により資質向上を図っています。また、他の事業所との意見交換なども実施しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との面談により作成しています。また、相談支援事業所、関係機関と連携を図り支援計画に反映しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートや評価キットを用いて実施しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		一人ひとりの支援内容に沿った計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画に基づき支援しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個別支援計画のスケジュールに沿って、チームで活動計画を立てます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		メインプログラムを日々精査しながら検討を重ね取り組んでいます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		お子様一人ひとりの目標に沿った計画を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に前回の振り返りと本日の課題について、ミーティングを実施しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育の振り返りや送迎で通所いただいた時の家族とのやり取りなど、情報の共有を実施しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援ソフト(HUG)に支援の記録を入力し、ご家族への公表も実施しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		ご家族とコミュニケーションや面談を定期的に行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。(多職種も参加する事もあります)
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	〃
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	〃
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所や幼稚園等と連携、申し送り書類を作成し提供します。必要に応じて訪問、伝達を行います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		学校と連携、申し送り書類を作成し提供します。必要に応じて訪問伝、達を行います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		事業所担当者と連絡をとり、助言をいただいています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	〃
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎で通所いただいた際に、困りごとや出来たことなどその場で伝い合えるようにしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		送迎で通所いただいた際に、困りごとや出来たことなどその場で伝い合えるようにしています。また、療育内容を通じて家庭でも取り組めるプログラム等の助言を行っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に運営規定ならびに重要事項の確認を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援内容の説明を行い同意を得ています。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎で通所いただいた際に、困りごとや出来たことなどその場で伝い合えるようにし、必要に応じて助言を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年に一度保護者会を開催しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置していますので、お気軽にご相談ください。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		支援ソフト(HUG)を活用し、活動状況や行事開催等の連絡を行っています。また、ホームページにもブログを掲載しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約の際に個人情報の取り扱いについての確認を行っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様が分かる伝達方法を使用します。(筆談、イラスト等)
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	該当事例がありませんが、可能な限り対応していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		事業所内での共有には努めていますが、必要に応じて周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		火災、風水害、地震等を想定した訓練を定期的に実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		ご利用の契約の際にご家族へ確認を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事前に把握し対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所のみならず会社全体で共有し、再発防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修にて虐待防止の取り組みを実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	該当事例がありませんが、やむを得ず実施する場合は児童発達支援計画に記載を行います。

令和6年度「保護者等向け」児童発達支援自己評価表

株式会社 芳野ケアサポート わいわいkids

令和6年度実施 回収 1部/配布 2部(回収率50%) ※無回答は数値に含んでいないため回答数と一致しません

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				(運動スペースと学習スペースがあり、十分な広さを確保し療育環境を整えています。)
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	1				(児童発達支援管理責任者1名、保育士4名、児童指導員2名、にて、ニーズに対応できる体制にしています。)
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1				(席の配置や活動など、何をすれば良いか分かるように絵や写真などの視覚情報も掲示しています。)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1				(就業前後に清掃しています。また、学習スペースと運動スペースをそれぞれ確保し活動しやすい環境を整えています。)
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1				(普段の会話や面談時にご自宅での様子などをお伺いし、一緒に確認しながら支援計画作成に努めています。)
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1				(児童発達支援ガイドラインの支援項目を参照に、ご両親との面談にて情報収集し計画作成に努めています。)
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1				(児童発達支援計画に基づいて支援しています。)
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	1				(児童の発達に合わせて活動内容を精査、検討して取り組んでいます。)
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1				(交流の機会を作っていければと思っています。)
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				(契約の際にご説明させていただいています。)
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1				(丁寧に説明するように努めていきます。)
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか		1			(ご家庭でも出来るようなプログラムをお伝え出来るような機会を設けていきます。)
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				(半年に一度、面談の機会を設けています。定期面談以外にご相談内容がある際は、ぜひお声かけください。)

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			(定期的な開催を行っております。保護者様の意見などお聞きしながら今後も開催していきたいと思っております。)
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1			
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			(支援ソフト(HUG)を使用し、活動状況や行事開催等の連絡を行っています。使用方法のご説明も利用開始時に実施いたします。)
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1			(ホームページ等への写真掲載可否など、個人情報取り扱いには今後も注意して参ります。)
非常時等の対応	20	急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1			(各種マニュアルは作成しております。ご希望がありましたらご覧いただけますのでお声かけください。)
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			(年2回の予定で訓練を実施しております。多くのお子様に参加いただけるように実施回数につきましては検討していきます。)
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1			(今後もお子様たちの期待に応えられるよう取り組んでいきます。)
	23	事業所の支援に満足しているか	1			(今後も様々なプログラムを準備しお待ちしております。)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社 芳野ケアサポート 子どもデイサービス わいわいkids (児童発達支援・放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年1 月31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日 ～ R7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が、内部研修や外部研修を受講する機会や会社内での研修に参加出来る機会が確保されている	・研修に参加出来るよう業務調整を行い、研修機会の確保に努めている。 ・会社内での研修については、オンラインでの研修参加が出来る様に環境を整えている	・伝達研修により職員の質の向上を図る。会社として年間計画を作成しているため、職員が参加しやすい環境設定に努めていく
2	活動プログラムが、充実について(運動、学習を特化型)	・活動の中で、確立したプログラムを日々児童に合わせた教材の準備を行っている。集団での運動プログラムについても毎月活動内容を計画的に実施し、出来る事から褒めていく事で自己肯定感が高められるよう職員の声掛けなど意識しながら取り組んでいる	・活動プログラムの教材を増やしていく事や職員の児童への声掛けや対応など日々学びの時間を増やしていく。プログラム内容の充実を図る
3	会社内での多職種連携が強化されている	・活動プログラムの新案など多職種との連携を会社内で行いながらプログラム作成などに繋げている。	・関わりの中で、更に強化出来る体制を作っていく。定期的に会議などに参加してもらう事で、更に療育内容を強化していく。専門的支援加算など取得出来る体制を整えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援への取り組みの発信が不十分であった	療育内容の発信が不十分で合ったことや利用状況の情報発信が不足していた	・発信できる環境を増やしていく事や情報が分かるチラシを作成していく
2	保護者同士の関わり	・保護者同士の関わりの方が少なかった。また保護者や兄弟の参加出来る活動など少なかった	・保護者交流会の開催日を増やしていき、交流できる環境を作っていく。また兄弟や保護者が一緒に参加出来る機会を作っていければと思う
3	年齢の差がある為、活動を行う際の行動面での差が出てくる	・グループの中で、無理の無い取り組みをプログラムの中に介入していく事で、取り組みに繋げている	・事業所を増やしていく事で、年齢幅やプログラム内容を充実させていき課題分析に繋げていく(2事業所開設)